死亡届

受理 平成 年 月 日 第 号	発送 平成 年 月 日
送付 平成 年 月 日 第 号	長 印
書類調査 / 戸籍記載 / 記載調査 / 側 / 委 / 票 / 附 / 票 / 住民票 / 通 / 知	

成14 年 2 月24 日届出

岡市城南区 長 殿

(1)(2) 氏名	(よみかた) じょう なん いち ろう 氏 城南 名 一郎	☑男 □女
(3) 生年月日	明治 昭和 大正 平成 6 年 11 月 3 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時間も書いてください) □午前 ☑午後 時 分	
(4) 死亡したとき	平成 14 年 2 月 23 日 ☑午前 □午後 0 時 12 分	
(5) 死亡したところ	福岡市城南区七隈○丁目 番地 ○ 番 ○○ 号	
(6) 住所 (住民登録をしているところ)	福岡市城南区鳥飼6丁目 1 番地 1 番 1 号 世帯主の氏名 城南一郎	
(7) 本籍 (外国人のときは国籍だけを書いてください)	福岡市中央区天神1丁目 8 番地 8 番 筆頭者の氏名 城南一郎	
(8)(9) 死亡した人の夫または妻	1.ある (満 75 歳) 2.いない □未婚 □死別 □離別	
(10) 死亡したときの世帯のおもな仕事と	1.自営業・農林業 2.自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3.企業・官公庁・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4.3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 5.1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6.仕事をしている者のいない世帯	
(11) 死亡した人の職業・産業	(国勢調査の年…平成12年…の4月1日から翌年3月31日までに死亡したときだけ書いてください。) 職業 産業	
その他	1.同居の親族 2.同居していない親族 3.同居者 4.家主 5.地主 6.家屋管理人 7.土地管理人 8.公設所の長	
出人 本籍	福岡市城南区鳥飼6丁目 1 番地 1 番 筆頭者の氏名 城南太郎	
住所	福岡市城南区鳥飼6丁目 1 番地 1 番 1 号	
署名	城南太郎 (城南) 明治 昭和 大正 35年 7 月 6 日生	
事件簿番号		
連絡先	電話 (092) 822-2131 自宅・勤務先・呼出 (方)	

記入の注意

- ◎鉛筆や消えやすいインクで書かないでください。
- ◎文字は、略さず正確に書いてください。
- ◎死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。
- ◎届書は福岡市の区役所、出張所に届け出る場合に限り1通で機構です。(他市区町村役場に届け出る場合は、役場によって取扱が異なる場合がありますので提出される役場にお尋ね(ください)。
- ◎「筆頭者の氏名」欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
- ◎内線のものはふくまれません。
- ◎□には、当てはまるものに☑のようにしるしをつけてください。
- ◎死亡者について書いてください。
- ◎署名は必ず本人が自署してください。
- ◎届出人の印をご持参ください。
- ◎受問(役場の執務時間中)に連絡のとれる電話番号をお書きください。

死亡診断書 ~~(死体検案書)~~

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

	氏名	城南 一郎
	性別	(1)男 2女
	生年月日	明治 昭和 大正 平成 6 年 11 月 3 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時間も書いてください) 午前・午後 時 分
	死亡したとき	平成 14 年 2 月 23 日 ○午前・午後 0 時 12 分
(12)	死亡したところの種別	(1)病院 2診療所 3老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他
(13)	死亡したところ及びその種別	福岡市城南区七隈○丁目 ○ 番地 ○○ 番 号 (死亡したところの種別1~3) 施設の名称 七隈病院
	死亡の原因	I (ア)直接死因: 肺炎 — 発病(発症)又は受傷から死亡までの期間: 3日間 I (イ)(ア)の原因: I (ウ)(イ)の原因: I (エ)(ウ)の原因: II 直接には死因に関係しないが1番の傷害過程に影響を及ぼした疾病名等: 手術 1無 2有 {部位及び主要所見} 手術年月日 平成 昭和 年 月 日 解剖 1無 2有 {主要所見}
(15)	死因の種類	1病死及び自然死 外因死 不慮の外因死 (2交通事故 3転倒・転落 4溺死 5煙、火災及び火焔による傷害 6窒息 7中毒 8その他) その他及び不詳の外因死 (9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因)
(16)	外因死の追加事項	傷害が発生したとき: 平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分 傷害が発生したところの種別: 1住居 2工場及び建築現場 3道路 4その他( ) 傷害が発生したところ: 都道府県 市郡 区町村 手段及び状況
(17)	生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重: グラム 単胎・多胎の別: 1単胎 2多胎(子中第 子) 妊娠週数: 満 週 妊娠・分娩時における母体の病態又は異状: 1無 2有 [ ] 3不詳 母の生年月日: 昭和 平成 年 月 日 前回までの妊娠の結果: 出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)
(18)	その他特に付言すべきことがら	
(19)	上記のとおり診断(検案)する	診断(検案)年月日 平成14年2月23日 本診断書(検案書)発行年月日 平成14年2月23日 (病院、診療所若しくは老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所) 福岡市城南区七隈○丁目 ○ 番地 ○ 番 号 (氏名) 七隈花子 (七隈) 印

記入の注意

- 生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。
- 夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。
- 「老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホームおよび有料老人ホームをいいます。
- 傷病名等は、日本語で書いてください。I欄では、各傷病について発病の型(例:急性)、病因(例:病原体名)、部位(例:胃噴門部の癌)、症状(例:胃閉塞)等もできるだけ書いてください。
- 妊娠中の死亡の場合は「妊娠病何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠病何週の分娩中」と書いてください。
- 産後42日未満の死亡の場合は「妊娠病何週産後病何日」と書いてください。
- I欄及びII欄に関係した手術について、術式はその診断者と関連のある所見等を書いてください。組合せ状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。
- 「2交通事故」は、事故発生から死亡までの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。「5煙、火災及びひ焔による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。
- 「1住居」とは、住宅、寮等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。
- 傷害がどういう状況で起こったかを具体的に書いてください。
- 妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。
- 母子健康手帳等を参考に書いてください。